

緑の相談所だより

{ 12, 1月号 ~ 1991.11.30 ~ 発行・編集 旭川市緑の相談所 }

講習会

正月用，寄せ植え

日時 / 12月 8日 (日)
午後1～3時

講師 / 小島博昭
(旭川市緑の相談所相談員)

内容 / 盆景，栽景，ミニ盆景も
含めた寄せ植えの基礎につ
いて。

参加料 = 無料・定員 = 60名
お申込み・お問い合わせ =
旭川市緑の相談所
(神楽岡公園)

☎65-5553

クリスマス，大晦日と今年もあとわずか。緑の相談所では，一年中花や緑が楽しめますので，忙しいあなたに少しの休息をえる場所でもあります。冬の植物の管理などでわからないことや，困ったことなどは一度相談員に聞いてみてはいかがでしょうか。

冬の鉢物管理

日時 / 1月26日 (日)
午後1～3時

講師 / 村田正一
(旭川市緑の相談所相談員)

内容 / クジャクサボテンに花芽をつける，
シャコバサボテンの挿木，その他
鉢花・観葉植物の育て方について。

神楽岡公園に 新しい仲間が来たよ！

10月23日(水)にエゾリスが来ました。今は緑の相談所裏の飼育小屋にいますが，来年は森に放す計画です。朝は元気に走り回っていますが，昼は寒いのか巣に入り顔だけ出しています。リスのエサ箱を作りましたので，りんごの芯やかぼちゃの種などがありましたら入れて置いて下さいね。

季節の花ことば……カトレア 優雅な貴婦人。あなたは美しい

愛，美，気高さを象徴するカトレアは，華やかな色と形から美しい女性にたとえられ，贈り物としては最高の花。ブーケ，コサージュにと，華麗に活躍してくれます。



家でも出来るバードウォッチング

冬は鳥たちのエサも少なくなるので、バードテーブルを作って観察してみてもいいですか。エサを与える3原則は「移さず、サボらず、おとかさず」です。水場や木の枝に刺したくたものを置いてもいいでしょう。

シジュウカラの仲間では最もなじみがあり、カラの仲間では一番大きい。黒い帽子に白いほお、腹にのびる黒いネクタイ、灰色の衣にひととき鮮やかな背中の黄緑色。鳴き声…チュビー、チュンビーツツビ、ツツビ。



見つけてね

スズメ目/シジュウカラ科
シジュウカラ



スズメ目/ゴジュウカラ科
ゴジュウカラ

ゴジュウカラはすずめより大きく、青み帯びた上体に、眼をよぎる黒い帯がある。これらの鳥のなかで、頭を下にして下りることができるのはゴジュウカラだけです。鳴き声…フィフィ。

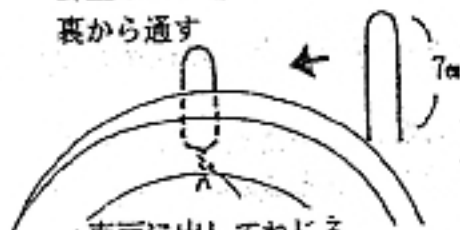
クリスマスリース

用意するものリースづくり…発包スチロール(土台) 麻ひも、針金(24番)、竹串、ヒバ、モミなど
飾りつけ…ドライフラワー、松かさ、チェックのリボンなどクリスマスらしい小物を自由を選ぶ

リース土台に壁掛け用の輪をつける

リース土台の表面、側面内面にヒバの小枝をまんべんなく差し込む

針金のピンを裏から通す



表面に出してねじる

モミの小枝をヒバの上からリース全体が丸くきれいな形になるように



直接差しこんで根元を針金でとめる

少したちあがり気味にする



斜めに切る



土台に竹串

で穴をあけヒバを差し込む
差した後を麻ひもでからげていく

右側も上から下へ順に差す

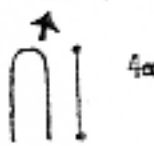


結ぶ

松かさやリボンなど飾りをつけて出来上がり



直接差しこんで根元を針金でとめる



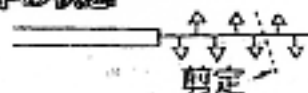
ブドウのこれからの管理

花木類の冬囲いも終り一段落する時期でもありますが、ブドウの剪定はこれからです。

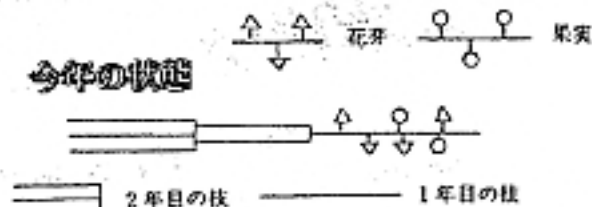
花と果実のつき方

ブドウは春から伸びた新しい枝に花房をつけます。今年の花芽は前年枝の基部より先端に向かってつき、それから出た枝が伸びて花房がつくこととなりますので、剪定をせずに放置しておくと枝、葉が多くなりすぎ果房に日光があたらなくなりますので完熟した良い品質のものが収穫できなくなります。

前年の状態



今年の状態



剪定の適期

旭川のように寒くて雪の多い所では、落葉期から積雪期前までに終わらせた方が良いでしょう。時期としては落葉直後、休眠期になります。

剪定の方法

多すぎる枝や枯れてきた枝は基部から取り除く間引き剪定と枝を切りつめる切り戻し剪定とがあります。

切り戻し剪定には次の四つの方法があり、その使い分けは品種によってことなります。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1) 短梢剪定=基部より1~3芽残す | 3) 長梢剪定=基部より7~9芽残す |
| 2) 中梢剪定=基部より4~6芽残す | 4) 超長梢剪定=基部より10芽以上残す |

品種による剪定方法

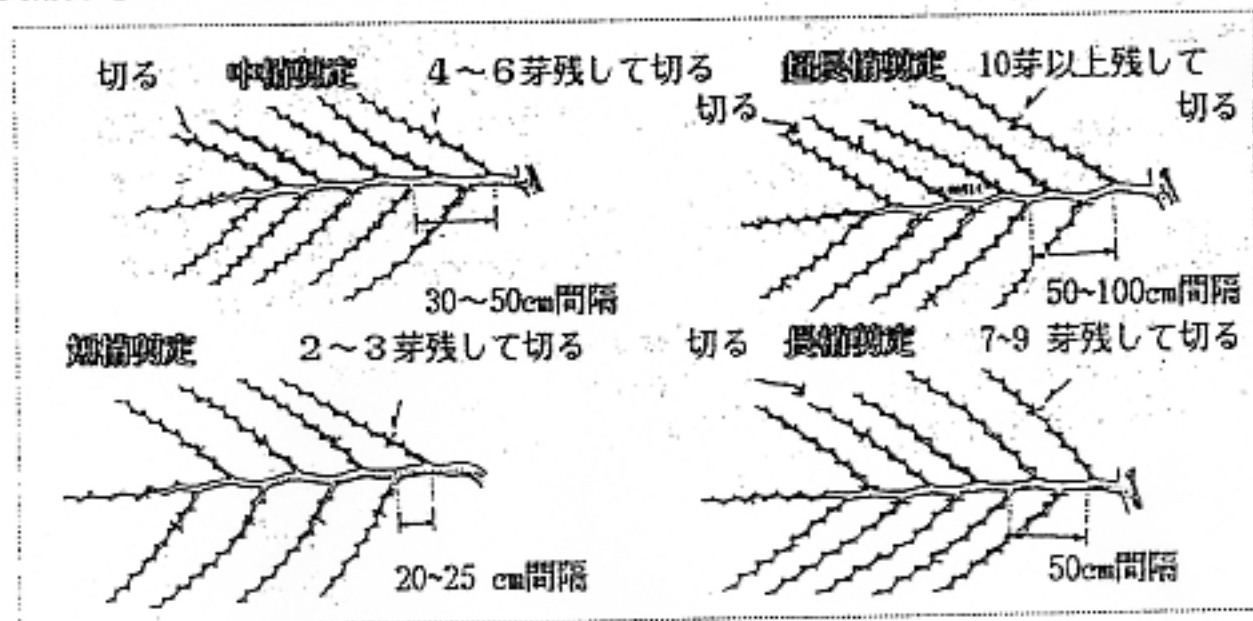
短梢剪定=キャンベル、アーリー、マスカット・ベリーA、(樹勢の弱い品種は短梢剪定)

中梢剪定=ナイアガラ、ポートランド、オンタリオ

長梢剪定・超長梢剪定=キョホウ群品種、ネオ・マスカット、コウシュウ、デラウエア
(樹勢の強い品種は長梢剪定)

剪定方法

剪定方法によって、残す枝の間隔が異なる。短梢剪定20~25cm、中梢剪定30~50cm、長梢剪定50cm、超長梢剪定50~100cm。



冬の鉢花 アラカルト

年末からいろいろな鉢花が出回っています。クリスマス、お正月用に求めた鉢花を大事に育ててできるだけ長い間楽しみましょう。

☆ポインセチヤ

クリスマスの飾りに人気があります。赤い花びらのようなものは花ではなく苞（ほう）といいます。花はその中心に小さくポチポチとついています。変わった形をしていますからよく観察してみてください。

メキシコ原産の熱帯花木ですから高温と日光を好みます。低温に合わせると葉、苞を落としますから15度以上は保よう気をつけましょう。店で購入した時も途中で寒さに合わせないよう注意してください。

水をほしがりますから鉢の表面が乾いたら鉢底から抜けるくらいたっぷり与えます。

1000倍に薄めた液肥を週1回施します。肥料不足では花苞が長持ちしません。

☆シクラメン

冬の代表的な鉢花シクラメンは地中海沿岸の原産でサクラソウ科の植物です。改良が進んで花色、花形が豊富にあります。

管理が良ければ春まで咲き続けますから次のことに気をつけるといいでしょう。

割合に低温を好みますから日中でも20度以下、夜は10度くらいが機嫌がいいようです。暖かい居間では葉がたれ下がったり花持ちも悪くなります。日光不足では花が上からなくなりますからできるだけ日光に当てることも必要です。

つぎつぎと花をたてるので体力を消耗しますから週1回液肥を与えます。ちかごろのシクラメン鉢は鉢底から水を吸わせる式のものが多くなりました。鉢底に給水するとき肥料をとかした水を与えます。

咲き終わった花、黄色くなった葉はなるべく早めに取り除きます。茎をねじるようにしながら引っ張ると元からとれます。

☆アザレヤ

アザレヤはイギリスやベルギーで、中国や日本から導入したツツジやサツキなどを交配して作り出されたものです。その後品種改良が進んで花色、花形のいろいろな品種が作り出されています。アザレヤとはツツジのラテン語名です。

温度の高すぎる場所では花持ちが悪くなります。日中20度以下、夜は凍らない程度の所におくと長く楽しめます。なるべく明るい場所がいいでしょう。

花が咲いているときは水をたくさん吸います。乾ききらないうちにたっぷりと与えてください。花が散ったあとに小さな実が残っています。種をつけると無駄な養分がとられますから花が落ちた都度、実を摘みとってください。

☆プリムラ

サクラソウの仲間、オブユニカ、ボリアンサ、マラコイデス、ジネンシスなどいくつかの品種があります。どれも低温を好みますから日中15度くらい夜は10度を切るくらいがいいのです。日光不足では花色が悪くなりますからガラス越しの日光に当ててやりましょう。つぎつぎと花を上げますから乾ききらないうちにたっぷりと水をやり、週1回の液肥も施します。種をつけないように咲きがらを手まめに取り除いてください。

アブラムシ、オンシツコナジラミが付きやすいので気をつけてください。